

研究課題名	全国規模の肝炎ウイルス感染状況の把握及びウイルス性肝炎 elimination に向けた方策の確立に資する疫学研究（初回献血者における HBs 抗原陽性者・HCV 抗体陽性者）
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科 特任教授 田中 純子
研究期間	実施許可日～2028年 3月 31日
対象者	2017年1月1日～2026年12月31日の間に、全国の献血ルーム、献血バスなどで初めて献血をされた方
意義・目的	WHOはウイルス肝炎の撲滅を目指しており、その対策のための基礎資料として、国民のB型肝炎ウイルス（HBV）とC型肝炎ウイルス（HCV）の感染状況把握は必須です。 日本赤十字社血液センターには1年間に約500万人の方が献血しており、その血液についてはすべて全国で統一された試薬・基準でHBVとHCVの詳しい検査を行っています。他では得られないその膨大な検査結果を統計解析することにより、国民の肝炎ウイルスの感染の実態を知ることができ、特に、無症状で自覚のない感染者集団の大きさと分布を知ることができます。
方法	本研究は、日本赤十字社より、2017年から2026年までの1年間ごとの初回献血者数、そのうちのHBs抗原陽性者数、HBc抗体陽性者数、HBs抗体陽性者数、HCV抗体陽性者数を都道府県別・性別・出生年別に分類した集計データ（個人を特定される情報は無い）の提供を受け解析します。性・年齢・地域別に陽性者数を算出し、また無症状で自覚のない感染者集団の大きさを推定します。
研究組織	日本赤十字社中央血液研究所 所長 佐竹正博
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科 特任教授 田中 純子
個人情報保護について	研究で用いるデータについては、日本赤十字社血液事業部内で許可を受けた情報管理者が性別・年齢別に集計されたデータを作成し、広島大学にメールで提供されます。集計されたデータのため、個人の特定は不可能で、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日（2023年6月19日）
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel：082-257-5162 広島大学大学院医系科学研究科 疫学・疾病制御学 講師 秋田智之